

古代メキシコ3大文明

メキシコは日本の5倍の広さがあり、地域によって自然環境が大きく異なります。

にし すず かん そう ちゅう おう こう げん ぶん めい ぶん めい
西の涼しく乾燥した中央高原ではテオティワカン文明とアステカ文明が、
ひがし あたた あめ おお てい ち ぶん めい さか
東の暖かく雨の多いマヤ低地ではマヤ文明が栄えました。

それぞれの気^き候^{こう}や風^{ふう}土^どのなかで、個^こ性^{せい}ゆたかな作^{さく}品^{ひん}がう^うだ^だされました。

こ だい ねん びょう
古代メキシコ年表

この展覧会では、古代メキシコで栄えた文明のうち
テオティワカン、マヤ、アステカの3つを取り上げます。

時代区分	2000	せんこてんき 先古典期	BC	AD	250	こてんき 古典期	950	こうこてんき 後古典期	1521	しよくみんち じだいい スペイン植民地時代
メキシコ わんがん ぶ 湾岸部		オルメカ 前1500 ～前400								
メキシコ ちゅうおう こうげん 中央高原					テオティワカン 前100 ～550		トルテカ 800 ～1150		アステカ 1325 ～1521	
マヤ てい ち 低地										前1200 ～1697

にほん じだいい じょうもん やよい こ ほん あすか なら へいあん かまくら なんばくちゅう むろまち あづちのもやま え ど
日本の時代 …… 縄文 …… 弥生 …… 古墳 …… 飛鳥/奈良/平安 …… 鎌倉/南北朝/室町/安土桃山/江戸 ……

それぞれの文明が^{ぶん めい}日本の^{にほん}どの^{じだい}時代の^{くら}ころにあったのか比べてみよう！



テオティワカンの
たてもの
建物にはカラフルな
え
絵がたくさん



テオティワカン遺跡



しず
沈んだ
し
(死んだ)

(死んだ)
たいよう しめ ちょうこく ひ で ふっ かつ
太陽を示す彫刻 日の出で復活!



死のディスク影



とりがたどき
鳥形土器



テオティワカン ぶんめい 文明

にほん
日本から
メキシコへは
ひこうき
飛行機で
じかんいじょう
12時間以上!

アステカ文明



トラロク^{しん}神の^つ器

丸い目とキバが
とくちよう
特徴の嵐の神様は
あらじ かみさま
実りの雨をもたらし
みの あめ

きちよう かい かざ
貴重な貝の飾りを
たくさん使った
ぜいたくな
入れもの

つよ
強さや
勇気の
シンボルである

わし
驚は戦
士たち
のあこ
がれ



わし
鷲の戦士像

文明 ぶんめい 硬いボールを かた
打ちかえすための う
厚い防具をまとっている あつ ぼう ぐ

かみ
ざる
猿の神とカカオの土器

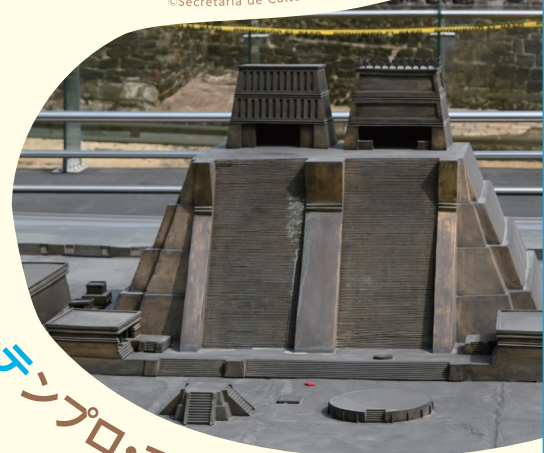
力カ才は飲みもの
ざいりよう
材料のほかお金かねとしても
つか
使われた高級品こうきゅうひん

球技をする人の土偶



赤あかの女王じょおうのマスク・冠かんむり・首飾くびかざり

ま か ひつぎ
真っ赤な棺のなかで
ねむ
眠っていた
おう ひ さま そうしよくひん
王妃様の装飾品



テンプロ・マヨール遺跡(模型)



みみ かざ
耳飾

とお くに
遠い国の
き ちよう きん
貴重な金でつくられた
かみ さま みみ かざ
神様のための耳飾り

ぐん じ りょく
軍事力で
かがや おう こく
輝いた王国
にはめずらしい
みつ
貢ぎものも

アステカ文明

テオティワカン文明

たいよう つき
太陽や月の
たいせつ
うごきを大切に
だいとし せつけい
大都市の設計にも
えいぎょう
その影響が